

令和4年度 藤枝西高等学校第3回学校運営協議会（議事録）

1 日 時 令和4年11月7日（月）午後2時から4時まで

2 場 所 藤枝西高等学校 会議室

3 参加者

会 長	鈴木 尚夫	元公立中学校長【学校運営に資する活動者】
副会長	高橋 等	静岡産業大学教授【学識経験者】
委 員	櫻井 勁三	西益津地区第一自治会長【地域住民】
委 員	田形 聡子	田形内科医院臨床心理士【学校運営に資する活動者】※欠席
委 員	寺田万理杏	フィットネス インストラクター【その他】
委 員	長島 健一	令和4年度PTA副会長【保護者】 ※欠席

校長（國川）、副校長（野澤）、教頭（山本剛）、事務長（岩本）、教務主任（掛下）、生徒指導主事（櫻井）、進路指導主事（赤池）、総務主任（増田）、図書課長（永田）
記録：総務課員（望月）

4 内 容 （進行）野澤副校長

(1) 校長挨拶 「元気と笑顔があふれる西高」を合言葉に、生徒、教員ともに、日々頑張っている。本校に通っている生徒や本校に勤務する教職員の満足度が高いことが、最大の広報になると考えている。

(2) 学校運営の進捗状況及び課題整理

○新たな学校広報手段の導入について

中学生に、本校の様子を身近に知ってもらうために、Instagramを立ち上げた。現在、フォロワー数33人である。

○中学生一日体験入学について

多くの中学生や保護者が、藤枝西高校に期待することが、「元気で笑顔があふれる学校」であることが分かった。また、コミュニティ・スクールの活動に参加してみたいと答えてくれた中学生は、ZUMBA101人、日知塾66人、花いっぱい64人であった。学校紹介動画について、本校生徒の声を取り入れてリニューアルし、発信している。

○体育祭について

令和2年度から、体育祭として実施し3年目となり、生徒主体をコンセプトに、満足度の高い行事となっている。これが内面の成長につながる。長島体育委員長の終わりの挨拶も印象深かった。

○部活動について

多くの部活動で新人戦が終了し、県大会への出場を果たしたが、今年度は、全国・東海大会への出場はなかった。唯一、外部で活動しているスポーツクライミングで、鈴木大翔さんが、国体8位入賞を果たした。

○校則の見直しについて

毎年、風紀委員会を中心に、校則の見直しを行っている。生徒の人権に配慮した上で、生徒を守り育てるための校則として、風紀委員会が妥当性を検証し、必要に応じて、見直しをしている。今後は、職員会議や、学校運営協議会で熟議を重ね、学校ホームページに公開していく計画である。

(3) 校内見学 1年生から3年生までの授業の様子を見学

(4) 学校近況報告

- ア 教務課 ○分かりやすい授業の実践を通して、確かな学力の向上を目指している。1年生は、2学期から一人一台のchromebookを使って、授業を進めている。その成果検証等のため11月25日(金)に職員研修を実施する。
- イ 進路課 ○面接を充実させることにより、生徒の進路希望を明確化し、その実現に向けた支援に、全力で取り組んでいる。
- ウ 生徒課 ○現在、風紀委員会の生徒を中心に、校則の見直しを実施している。制服に関すること、スマートフォンの使用に関すること等、年度内には、職員間でも合意を形成しつつ、できるところから実行していく。
- エ 総務課 ○PTA活動や、コミュニティ・スクール事業を通して、学校と家庭、地域の連携強化について、手応えを感じている。
- オ 図書課 ○毎日10分間の朝読書の時間も定着し、効果も上がっている。今後、読書に関する意欲関心の変化について調査をしていく予定である。

(5) 協議・意見交換 (進行) 鈴木会長

- <鈴木会長> ○学校生活は授業がまずは大事である。子どもたちの反応や姿勢、表情を大切にしたい。
 - 子供たちの成長が感じられ、地に足が付いた教育をしている。
 - 今月が授業公開月間で、教員間で授業を見せ合い、より良い授業を作ろうとしている姿勢が生徒たちに伝わっている。
 - これからの時代は情報発信が極めて大事で、中学生は、生徒たちの姿や取組に注目している。校内に掲示してあった西高のアピールを見て、中学生が本校を志願するきっかけとなる。
 - 志願倍率の推移を示すことで、倍率が上がってきていることを中学生に提示すると良い。志願倍率を近隣校と比較しても、本校の倍率は高く、学校の評判が結果に表れていることをグラフ化するとよく分かる。
 - 生徒会インタビュー動画について、中学生が生徒の声を聴くことで、気持ちを同一化させることができるので良い動画である。受験生の親子が気に掛けていることは、多感な時期の高校生活3年間を、どこの高校に預けるかということ、それを考える手段は、高校が発信する情報に頼られるので、情報発信は大事である。
- <高橋副会長> ○生徒はにぎやかに、楽しみながら授業を受けていた。
 - 生徒指導について、イエローカードを廃止したことは英断である。イエローカード廃止や体育祭など、生徒の自主性を重んじることは良いことであるが、コントロールが大変で手間が掛かり、先生の負担が増えることが心配でもある。
 - 生徒たちが自分で考えるのは、きわめて大切なことである。
- <櫻井委員> ○授業見学について、居眠りをしている生徒はいなかった。普段の指導のたまものである。体育の授業に活気があって良かった。
 - 自治会でも挨拶運動をやることで、西高とも連携していきたい。
 - 中学生の一日体験入学で中学生と高校生が会話をする機会はあるのか？生の声を聴く機会があると良い。
- <寺田委員> ○西高の良さ、様々な活動など、より広報していくことが大事である。
 - Instagramで検索にヒットするようなハッシュタグを活用すると良い。InstagramのQRコードをポスターにして掲示すると良い。